

揺らぐ高専生をどうサポートするか ステップアップ編ー

■講師



坪井 泰士
(阿南工業高等専門学校・一般教科・教授)

広島大学教育学部卒業。高等学校教員を経て、1989 年度から阿南工業高等専門学校に勤務。学生による授業評価、ピアレビュー等の授業改善方法の導入に携わるとともに、これらを用いた統合的授業改善システム(授業コンサルティング)を構築。2005 年度からは、校長補佐を兼任。

■プログラム概要

高専生は心の揺らぎは大きくなり、学生支援の必要性は日々、増えています。一方、高専教員の多くは教職経験を有していません。「問題行動はないものの孤立し、欠課・欠席から一気に崩れる」「指導には素直に回答するものの、行動は全く改善されない」「教員を見て対応を変え、しばしば公然と不満そうな態度を取る」「指導の一部の不備を指摘し、指導全体への不信感を持つ」「指導の不全を執拗に指摘し、教育全体を批判する(保護者)」という状況において、生活指導などの学生支援において中核(コア)を担い、教員協同のハブとして全校をリードする教員の存在の役割がいつそう大きくなりつつあります。

高専の抱える問題を概観し、個別の学生支援を注視しつつ、学生支援に必要なスキルを確認します。それらをとおして、学校の学生サポート力向上方法について、参加者間の情報交換を活用しながら獲得できます。

■主な受講対象

高専以外も対応できます。

とくに、高専の場合はクラス担任や学生・寮務主事補経験を有し、生活指導などの学生支援において、学校の中核(コア)を担おうとする教員。

■本プログラムの到達目標

1. 自校の学生サポートについて、懸念される問題を指摘できる。
2. 学生サポートを概観できる。
3. 懸念される学生サポートにおける「問題把握」と「対応」を説明できる。
4. 懸念される問題に関する「発生時期・場所」を予測できる。
5. 自校の学生サポート力向上に、情報と連携の面から提言できる。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成24年8月24日(金) 11:00~12:30

会 場 : 徳島大学 常三島キャンパス 共通教育6号館 2階 6-201教室

定 員 : 20名